

ささやま

編集責任者

橋上中学校

新聞で広がる輪

6月19日の(金)の高知新聞に1年生の寺田君の記事が取り上げられています。「部活のテニス楽しみ」という記事です。中学生になった当初は「部活についていけないかな」、「休みがなくなるんじゃないかな」と心配していたのが、テニスを楽しみになってきたという内容でした。

先日、学校あてに分厚い封筒が届きました。差出人は、幡多ソフトテニス連盟会長 森本 哲 となっていました。早速、開けてみると、温かいメッセージとテニスの練習の仕方を懇切丁寧に解説してくれている「やろうよソフトテニス」という本が入っていました。

それには、橋上中学校が少人数ではあるが、部活動を頑張っていることや、以前はテニス部が幡多地区の大会で活躍していたことなどが綴られていました。

寺田君の記事を投稿したことによって温かいソフト

テニスの輪が広がっています。この通信の裏に森本さんのメッセージを掲載しています。



届いたテニスの本

弁論大会

6月12日(金)に校内弁論大会が行われました。日ごろ思っていることや読んだ本の紹介など、どのスピーチも正直で素直な気持ちで込められていました。

弁論が終わり、その結果、二名を選出しました。小島阿未さんの「2年生になって」篠原菜那さんの「本」です。

また、高知県人権作文コンテストには西原朋佳さんの「命の重さ」を出品することとなりました。



校内弁論大会より2



校内弁論大会より1

進路説明会

6月18日と25日の両日、平成27年度校内進路説明会が行われました。高知県の国公立立高校あわせて6校が、橋上中学校へ来校いただき、それぞれの学校の特色や求める生徒像などを、分かりやすく説明していただきました。

橋上中学校では3年生だけでなく、全校で聞く事ができ、1、2年生にとっても、良かったのではないかと思います。

それぞれの生徒が、自分の志望校、気になる高校、

行ってみたい高校を考え、これからの進路の参考とすることができました。

これから各高校のオープンスクールや学校説明会などが始まります。自分の進路の実現に向けて真剣に考えていってほしいと思います。



幡多農業高校 高校説明



熱心に聞いている生徒たち

あいさつ運動

あいさつはコミュニケーションの基本であり、あいさつを通して生徒の公共心や社会性を醸成していくことは、たいへん重要であると考えています。橋上中学校でも、毎月20日を中心

運動を行っています。



あいさつ運動行っている執行部

ふるさと学習

6月30日(火)小学校・中学校授業交流、キャリア教育の一環として、ふるさと学習を行いました。ペットボトルを利用して、川エビをとるための「ころばし」づくりを橋上小学校の5・6年生と橋上中学校の生徒17名が体験しました。講師は、地元の濱田頼之さんと野々下直人さんでした。半田ごてを使ってペットボトルに穴をあけたりと難しい作業もありましたが、全員が「ころばし」を作成することができました。



小中交流授業の様子

部活のテニス楽しみ

★宿毛市・橋上中★

ぼくは、中学生になって心配していたことや楽しみにしていたことがあります。

まず、心配していたことは、部活と学校生活です。「部活はついていけないかな」「休みがなくなるのかなあ」と思っていました。やってみるとだんだん慣れてきました。学校生活も、ほぼ制服しか着られないので、きゅうくつかなあと思っていました。今も慣れてないけど、もうちょっとたつとなれると思います。

楽しみにしていたことは、部活のテニスです。5月ごろからボールを打つ練習などが本格的に始まりました。写真。家でもちょっと練習しています。

これからも中学校生活をがんばっていきます。(1年、寺田直矢特派員)



高知新聞 記事より

